



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 玉井商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9127 URL <https://www.tamaiship.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清崎 哲也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 松本 和成 (TEL) 03-5439-0260
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,830	△12.3	355	△50.9	335	△59.6	224	△89.0
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		4,366	△13.3	724	5.3	830	11.0	2,045
	423百万円(△79.7%)		2025年3月期第3四半期		2,089百万円(240.6%)			
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期第3四半期	116.17		—					
2025年3月期第3四半期	1,059.87		—					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	13,684	9,575	69.6
	12,647	9,306	73.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 9,529百万円 2025年3月期 9,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2026年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

	2026年3月期 3Q	2025年3月期	1,932,000株
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	1,991株	2025年3月期	1,849株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	1,930,117株	2025年3月期 3Q	1,930,209株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、ロシアウクライナ戦争の長期化、中東情勢の緊張、トランプ関税による景気下押し懸念が広がる中、世界経済は緩やかながらも底堅い成長を維持しています。

米国においては、利下げによる景気下支えを続け、インフレは減速傾向にあるものの個人消費鈍化の兆しが見られています。労働市場は徐々に減速しており、雇用の伸びは鈍化傾向にあり、関税政策やインフレの再加速がリスク要因となり、依然として先行き不透明な状況が続いています。中国では、長引く不動産不況に加え政府主導の買い替え策の効果が薄れ景気の減速が続いています。

日本経済は、インバウンド需要の回復と底堅い個人消費にも支えられ、内需は堅調に推移していますが、自動車産業を中心に米国の関税政策の影響を強く受け外需の弱さが散見されました。半導体関連輸出はAI需要により好調を維持していますが、全体としては輸出の伸び悩みが続いています。

2025年10～12月期の外航ドライバルク船マーケットは、米国USTRによる中国建造船の米国寄航に対する課税を10月14日開始日として米国が一方的に宣言したことなどにより9月から始まった上昇カーブを引き継いで11月いっぱいまでは堅調でしたが、12月に入ると年内積みの船の手當てに一服感がでたこと・中国向けの米国大豆の出荷が止まることなどにより年末まで下げ続けました。

今後の外航ドライバルク船市況の展望は、南米の穀物シーズンによりマーケットは強気に受け止めており、今季のブラジルの大豆生産は1億7600万トンと過去最高を更新する見込みですので、トンマイルの観点からも非常にポジティブな材料です。ケープサイズのマーケットが堅調に推移することで、マイナーバルクが中小型船に回帰する動きも期待されます。しかし今後カムサマックス船とウルトラマックス船は共に200隻前後のデリバリが予想されますのでそのインパクトは無視できません。以上のような状況において、当連結会計年度も地政学的リスク及び環境変動に対応した航路選定・バラスト航海短縮による効率的配船・海運市況変動リスクの低減に努め、新規契約に鋭意努力し、将来を見据えた事業展開を図ってまいります。

この結果、営業収益は3,830百万円（対前第3四半期連結累計期間比△536百万円、12.3%減）、営業利益は355百万円（同△368百万円、50.9%減）、経常利益は335百万円（同△494百万円、59.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は224百万円（同△1,821百万円、89.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・外航海運業

支配船舶による北米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミの輸送を行い、運航採算の向上に努めるとともに一部支配船舶の短期貸船により、安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第3四半期連結累計期間に比べ貨物輸送から短期貸船への比率が高まり、マーケットは低調に推移した結果、3,012百万円（対前第3四半期連結累計期間比△526百万円、14.9%減）となりました。また、営業費用面は、外部からの短期用船による借船料や一部の船舶において中間検査に伴い船費の増加はあったものの、短期貸船の比率が高まり運航費が大幅に減少し、営業費用全体で減少しました。この結果、619百万円の営業利益（同△415百万円、40.1%減）となりました。

・内航海運業

定期用船1隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船2隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。また船員を他社へ融通し派遣業収入を得ました。

船員を他社へ融通し派遣業収入が増加したものの、一部の船舶において定期貸船が終了した影響で、営業収益は724百万円（対前第3四半期連結累計期間比△16百万円、2.2%減）となりました。営業費用は、一部の船舶において定期借船が終了した影響で全体として減少した結果、55百万円の営業利益（同19百万円、52.1%増）となりました。

・不動産賃貸業

不動産賃貸業は、堅調に推移し営業収益は、92百万円（対前第3四半期連結累計期間比5百万円、6.8%増）、営業利益は、35百万円（同12百万円、54.5%増）となりました。

(注) 営業利益は配賦不能営業費用（356百万円）控除前のものです。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,036百万円増加し、13,684百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金の減少などにより1,428百万円減少し、固定資産が船舶の取得により増加し全体で2,465百万円増加しました。負債は4,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ768百万円の増加となりました。これは、流動負債が1年内返済長期借入金の増加などにより85百万円増加し、固定負債が長期借入金の増加などで682百万円増加したことによるものです。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益224百万円、剰余金の配当154百万円などによる株主資本の増加69百万円、その他有価証券評価差額金の増加によるその他の包括利益累計額合計の増加195百万円などにより、前連結会計年度末に比べ268百万円増加し、9,575百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間における業績の見直しを行った結果、2025年11月6日付当社「2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「通期業績予想の修正、株主還元方針の変更及び配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。また、「中期経営計画(STEP Forward2026)の進捗状況について」を当社ホームページに掲載しますので合わせてご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,185,775	2,783,935
海運業未収金及び契約資産	156,308	184,524
貯蔵品	365,962	337,584
その他流動資産	178,035	151,205
流動資産合計	4,886,082	3,457,249
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	4,516,220	8,284,204
建物（純額）	157,734	151,248
器具及び備品（純額）	8,667	10,406
土地	167,363	167,363
建設仮勘定	1,577,022	—
その他有形固定資産（純額）	12,745	19,999
有形固定資産合計	6,439,753	8,633,222
無形固定資産		
投資その他の資産	8,019	6,657
投資有価証券	1,126,569	1,402,203
退職給付に係る資産	90,726	100,523
繰延税金資産	18,177	12,718
その他長期資産	78,528	71,886
投資その他の資産合計	1,314,002	1,587,331
固定資産合計	7,761,775	10,227,210
資産合計	12,647,857	13,684,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	214,990	129,017
1年内返済予定の長期借入金	206,226	439,335
未払法人税等	29,227	27,451
契約負債	281,858	229,010
賞与引当金	34,093	8,733
その他流動負債	67,973	86,198
流動負債合計	834,368	919,746
固定負債		
長期借入金	1,307,189	1,806,191
繰延税金負債	908,718	988,027
特別修繕引当金	98,340	188,373
退職給付に係る負債	72,401	82,869
資産除去債務	14,763	14,763
その他固定負債	105,160	109,076
固定負債合計	2,506,573	3,189,301
負債合計	3,340,942	4,109,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	373,529	373,529
利益剰余金	7,685,445	7,755,258
自己株式	△2,312	△2,735
株主資本合計	8,758,662	8,828,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	505,020	700,965
その他の包括利益累計額合計	505,020	700,965
非支配株主持分	43,232	46,393
純資産合計	9,306,914	9,575,412
負債純資産合計	12,647,857	13,684,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
海運業収益	4,279,852	3,737,373
海運業費用	3,196,184	3,051,961
海運業利益	1,083,667	685,411
その他事業収益	87,018	92,903
その他事業費用	33,350	28,478
その他事業利益	53,668	64,424
営業総利益	1,137,336	749,836
一般管理費	413,161	394,569
営業利益	724,174	355,266
営業外収益		
受取利息	1,376	5,260
受取配当金	35,878	37,629
為替差益	107,315	1,317
その他営業外収益	24,697	6,880
営業外収益合計	169,268	51,087
営業外費用		
支払利息	23,650	20,835
燃料油売却損	28,207	46,402
その他営業外費用	11,504	3,852
営業外費用合計	63,362	71,090
経常利益	830,080	335,263
特別利益		
投資有価証券売却益	—	51,106
固定資産売却益	2,033,903	—
特別利益合計	2,033,903	51,106
特別損失		
投資有価証券売却損	—	131
ゴルフ会員権売却損	2,744	61
アドバイザリー費用	—	66,573
特別損失合計	2,744	66,766
税金等調整前四半期純利益	2,861,239	319,604
法人税、住民税及び事業税	160,988	103,024
法人税等調整額	653,508	△8,958
法人税等合計	814,496	94,065
四半期純利益	2,046,743	225,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	979	1,312
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,045,763	224,225

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,046,743	225,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,756	198,079
その他の包括利益合計	42,756	198,079
四半期包括利益	2,089,499	423,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,089,635	420,170
非支配株主に係る四半期包括利益	△136	3,446

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	3,538,890	740,961	—	4,279,852	—	4,279,852
その他の収益	—	—	87,018	87,018	—	87,018
外部顧客への営業収益	3,538,890	740,961	87,018	4,366,871	—	4,366,871
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,538,890	740,961	87,018	4,366,871	—	4,366,871
セグメント利益	1,035,051	36,799	23,277	1,095,128	△370,954	724,174

(注) 1 セグメント利益の調整額△370,954千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外航海運業	内航海運業	不動産賃貸業	合計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	3,012,733	724,639	—	3,737,373	—	3,737,373
その他の収益	—	—	92,903	92,903	—	92,903
外部顧客への営業収益	3,012,733	724,639	92,903	3,830,276	—	3,830,276
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,012,733	724,639	92,903	3,830,276	—	3,830,276
セグメント利益	619,495	55,980	35,970	711,446	△356,179	355,266

(注) 1 セグメント利益の調整額△356,179千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	594,498千円	567,421千円